

自昭和十八年二月一日 第二十三特別根據地隊戰時日誌
至昭和十八年二月十八日

一 經過

(1) 一般情勢

東印度方面各要地ハ戡定ト相俟ツテ敵水上艦艇ノ出沒ハ殆ト認メザルモ敵ハ航空機及潜水艦ヲ以テ「ゲリラ」戰ヲ續行シツツアリ尚最近敵ハ北部濠洲方面及南太平洋方面ヲ基地トシ活潑ナル動キヲ見セツツアリ、特ニ小「スシ」列島及「チモール」島「アル」タニバル諸島方面ニ對シ機動及撃ヲ算大ナリ東印各部隊ハ友軍陸海軍部隊ト協力シ擔任區域ノ防備ヲ強化スルト共ニ敵兵力ノ捕捉撃滅ヲ圖リツツアリ

(2) 敵軍ノ狀況

當隊警備擔任區域ニハ殘敵ヲ認メザルモ海上ニ於テハ尚敵潜水艦出沒ノ跡ヲ絶タズ本月下旬北濠洲方面ニ於ケル敵機集結ノ狀況竝ニ東印東部方面ニ於ケル敵航空機ノ來襲狀況ニモ鑑ミ小「スシ」列島及「ゲンダリ」方面ハ特ニ嚴

56

0113

重ナル警戒ヲ要ス

(八) 任務編制配備

(一) 主要任務(機密東印部隊命令作第一號)

(1) 「ホムダ」列島ヲ割シ隣接警備部隊ト協力ノ下ニ北部濠洲及印度洋方面ニ對スル第一線據點ヲ確保ス

(2) 擔任區域ノ防備警戒ヲ嚴ニシテ之ヲ確保ス

(3) 特ニ敵航空機ノ奇襲ニ備ヘテ之ヲ擊破スルト共ニ敵潜水艦ノ掃蕩ヲ積極的且徹底的ニ實施シテ之ヲ擊滅ス

(4) 隣接警備部隊ト連繫ヲ密ニシ海上交通線ヲ確保ス

(5) 敵信利用ニ依リ敵情偵知ニ努ム

(二) 編制配備

(1) 本隊及「ケンダリ」分遣隊ノ編制配備左表ノ如シ

0114

57.

備考(第)八業務略

本隊(三月十八日現在)

部	編		計	裝	備	配	備
	隊	士					
司令部	(第)一	一	二				
陸警衛隊	(第)一	八	二〇	重機銃四挺	陸警衛隊	飛行	
警砲隊	一		五	重機銃	砲	砲	
科防空隊		一	三	重機銃	砲	砲	
水警科		三	一	重機銃	砲	砲	
港務補給科	(第)一	四	三	重機銃	砲	砲	
通信科		一	五	重機銃	砲	砲	
機関科		二	七	重機銃	砲	砲	
医務科	(第)一	八	二六	重機銃	砲	砲	
主計科	(第)一	四	七	重機銃	砲	砲	
計	(第)五	三八	七〇	重機銃	砲	砲	

0115

「ケンガリ」分遣隊(二月十八日現在)

計	主計科	医務科	機関科	通信科	港務補給科	水警科	警陸	本部	部	隊	士官	准士官	下士官兵	計	装	備	配	備
							科											
(重)六		二				一		二										
九			一	一	水警科兼務	一		五										
三四〇	一三	六	二六	一〇		三六		一七一					七					
(重)三五五	一三	八	二七	一一		三八		(重)一七七						九				
<p>九式軽戦車 二門 四式特設機銃(重) 四 八式高射砲(同) 四 大砲五隻</p> <p>「ケンガリ」飛行場ニ 二ヶ小隊「アモイト」ニ 三ヶ小隊「水遣警備」ニ 任シ他「ケンガリ」ニ於 テ警備ニ従事 「マヌイ」ガ「カリ」ラハ 「アモイト」ニ防空見張 所ヲ配ス</p>																		

0116

(2) 第三十三特別根據地隊麾下兵力部署

隊	主	区分	部
		兵力	
第三海南丸 務艇、一二三 艦潛特務艇	新興丸 倉鷹 第五四 艦潛隊 (長良丸) 第一號 敷設艇 第二號 南丸 第一號 敷設艇 第四號 敷設艇 一〇 艦潛特務艇 二〇 艦潛特務艇	司令 部 及	指揮官 擔任區域
		附 屬 隊	
第十	第二	別隊	率
		水警隊 大發四隻 拿捕艇	直
		防空隊 三五 砲機銃小隊	近「セレバス」島
		陸警隊 警衛隊 砲隊	南部「セレバス」島
			一 全作戰支援 二 敵兵力擊破 三 占領地域確保 四 對空警戒 五 哨戒敵潛掃蕩 六 海上交通確保 七 港務 八 水陸施設整備

0117

西 小ステダ 警備隊	東 小ステダ 警備隊	第四警 戒隊	第三警 戒隊	第二警 戒隊	第一警 戒隊
第三警備隊	第六警備隊	「ケンダリー」方面所在艦艇	「メナド」方面所在艦艇	「マカッサル」方面所在特令艦艇	小ステダ「諸島」海域所在艦艇

地		據		根		別		特		三			
司備第三 令隊	司備第六 令隊	先任 指揮官	先任 指揮官	先任 指揮官	先任 指揮官	先任 指揮官	先任 指揮官	先任 指揮官	先任 指揮官	先任 指揮官	先任 指揮官		
近 小ステダ西部 (バリ、ロボツ、 スニワ)	近 小ステダ東部 諸島(スロレス)	近 「ケンダリー」及 「ブートン」島	近 「メナド」近海 「モルッカ」近海 「セレベス」海	近 「マカッサル」近海	近 小ステダ「諸島」 海域	近 小ステダ西部 (バリ、ロボツ、 スニワ)	近 小ステダ東部 諸島(スロレス)	近 「ケンダリー」及 「ブートン」島	近 「メナド」近海 「モルッカ」近海 「セレベス」海	近 「マカッサル」近海	近 小ステダ「諸島」 海域		
五 水陸施設整備		三 對空警戒		二 對濠洲及印度洋 據點確保		一 敵兵力擊破		三 海上交通確保		二 哨戒敵潛掃蕩		一 敵兵力擊破	

0118

57

<p>隊空航</p>	<p>警備隊 分遣隊</p>	<p>警備隊 分遣隊</p>
<p>九三三空三三〇基地派遣隊</p>	<p>第三十三特別根據地隊 分遣隊</p>	<p>第三警備隊派遣隊</p>
<p>官 令 司 隊</p>		
<p>派遣隊 指揮官</p>	<p>分遣隊 指揮官</p>	<p>派遣隊 指揮官</p>
<p>「マカッサル」近海及「スラバエ」諸島</p>	<p>東南部「セレス」及「ブートン」諸島</p>	<p>北部「セレス」</p>
<p>一 敵兵力撃破 二 上空警戒 三 對潛哨戒 四 敵情偵察 五 海上交通線確保 六 水陸施設整備</p>	<p>一 敵兵力撃破 二 占領地域確保 三 所在附近警戒 四 對空警戒 五 水陸施設整備 六 港務</p>	<p>一 敵兵力撃破 二 占領地域確保 三 所在附近警戒 四 對空警戒 五 水陸施設整備 六 港務</p>

0119

(二) 作戰指導

(一) 陸上作戰

南方水域殊ニ小「ス」ダ「列島」方面ハ敵及撃テノ算大ナルヲ以テ嚴重ナル警戒ヲ實施シ防備ノ強化ニ努ムルト共ニ極力諸訓練ヲ勵行シ教育ノ徹底就中陸戰ヲ主トシ戰力ノ向上ニ努ム

(二) 海上作戰

警備擔當海面ニ於ケル敵潜水艦ノ出沒頻繁ナル狀況ニ鑑ミ海上交通保護ニハ警備艦艇及航空機ノ全カヲ擧ゲテ之ヲ實施セリ

二月中ノ敵潛出沒狀況及經過別表及別圖ノ通

(三) 航空作戰

九三ニ空「一」部ヲ以テ「マカッサル」ニ在リテ敵情ニ應ジ小「ス」ダ「方面」ヘノ轉進準備ヲ整フルト共ニ艦艇ト協力當隊擔任警備區域ノ船舶護衛對潛哨戒ニ任ゼリ

(ホ) 戦備及政策事項

(一) 戦備

極力之が充實ヲ圖ルト共ニ特ニ訓練ノ勵行ト相俟ツテ人的戦力ノ充實ニ努メ敵産兵器ノ活用ヲ計リ兵器需品ノ尊重愛護ノ念ヲ喚起セシメ物的戦力ノ低下防止ニ努ム

(ニ) 政策事項

復興治安ノ回復ハ順調ニ進捗シ特ニ原住民ノ皇軍信頼ノ念ハ一層高マリツツアリ 其他民政府民政部ト緊密ナル連繫ヲ保テ産業開發並ニ軍需資源ノ開發促進等積極的支援ニ努ム

0121

別表
二月中敵潜水艦出沒狀況及經過

月日時刻	位置	概
二月十四日 〇八三〇	ES 三度五〇分 二七度五〇分 附近	弘玉丸雷撃ヲ受ケ沈没
二月十七日 一〇三〇	ES 三度三〇分 二七度	敵潜水艦伏在ノ疑アリ 2200g ヨリ敵告報
二月二十一日 一五〇五	カンゲアン島五哩	桑山丸雷撃ヲ受ケ沈没
二月二十三日 一一二三	ES 八度二〇五分 二九度三三五分	蒼鷹探知攻撃
二月二十日 一九〇五	ガラヤル水道中天	松風潜望鏡発見
二月二日 二〇〇〇	ES 四度四六分 一〇八度三六分	独船報告敵潜水艦ヲシテモヲ認ム
二月七日 二二四〇	スラバヤ港附近	2100 方位測定
二月七日 一〇〇〇	「マウジヤ」(マインガッパ) 東方約三千軒	海上潜水艦島民発見

0122

自昭和十八年三月一日 第十三特別根據地隊戰時日誌
至昭和十八年三月三十日

一 經過

(1) 一般情勢

航空機及潜水艦ヲ以テ「ゲリラ」戦ヲ續行中ノ敵ハ最近北部濠洲方面及南太平洋方面ヲ基地トシ活潑ナル動ヲ見セツアリ特ニ「小スンダ」列島及「チモール」島「アル」タニバル諸島方面ニ對シ機動及撃ヲ算大ナリ東印各部隊ハ友軍海陸軍部隊ト協力シ擔任區域ノ防備ヲ強化スルト共ニ敵兵力ノ捕捉撃滅ヲ圖リツツアリ

(2) 敵軍狀況

當隊警備地區ハ治安狀況良好ナルモ海上ニ尚敵潜水艦出没ノ跡ヲ絶タズ特ニ本月中旬以降敵潜水艦ノ出現頻繁トナレリ東印東部方面ニ於ケル敵航空機ノ來襲狀況ニ鑑ミ「小スンダ」列島及「ケンダリ」方面ハ特ニ嚴重ナル警戒ヲ要ス

18. 3
19. 6

0123

(18) 任務編制及配備

(一) 主要任務(機密東印部隊命令作第一號)

- (1) 小スンダ列島ヲ制シ隣接整備部隊ト協力シ下ニ北部濠洲及印度洋方面ニ對スル第一線據點ヲ確保ス
 - (2) 擔任區域ノ防備警戒ヲ嚴シシ之ヲ確保ス
 - (3) 特ニ敵航空機ノ奇襲ニ備ヘ之ヲ擊破スルト共ニ敵潜水艦ノ掃蕩ヲ積極的且徹底的ニ實施シ之ヲ擊滅ス
 - (4) 隣接整備部隊ト連繫ヲ密ニシ海上交通線ヲ確保ス
 - (5) 敵信利用ニ依リ敵情偵知ニ努ム
- (二) 編制配備
- (1) 本隊「ゲネリ」令遣隊及「メノド」令遣隊ノ編制配備左表ノ如シ

本隊(三月二十一日現在)

編	部隊	士官	准士官	下士官	計	装 備	配 備
	司令部	二	一	二	(内兼一) 三二		
陸	警衛隊	(内兼一) 四	八	二一〇	(内兼一) 二二二	九式輕裝車一合	陸警ヨリ入ス飛行場 警備多ク三分隊 派遣
	砲隊	一		五二	(内兼一) 五三	七五輕山砲 四門	「ハレハレ」ヨリ「ポン」 「タン」ヨリ「タン」
科	防空隊		一	二九	三〇	三五輕機銃 一基	三等防空見張所ヲ配
	水警科	四	一	一一一	一二六	大發 四隻	
港務補給科	(内兼一) 四		一	三四	(内兼一) 三九		其他ハ「マカサル」市附 近「警備」從事
	通信科	一		四七	五二		
機	機関科	二		六六	七〇		
	医務科	(内兼一) 八		一八	(内兼一) 二六		
主計科	(内兼一) 五		一	四三	(内兼一) 四九		
	計	(内兼五) 四〇	一九	六四〇	(内兼五) 六九九		

備考(兼)八兼務ノ略

2

0125

「分隊」分遣隊（三月三十一日現在）

計	主計科	医務科	機関科	通信科	港務補給科	水警科	警衛隊		本部	部	隊	士官	准士官	下士官	兵	計	裝	備	配	備	
							陸	警													
(五)						一		警衛長 (一)				二									
九						一						五									
三四〇	一三	六	二六	一〇		三六		七一				七一									
(三五四)	一三	七	二七	一一		三八		(一七七)				九									
						水警科兼務															
						大發 五隻															
						歩兵砲 九 九式輕戰車 二 四〇花機銃 (連度) 四 四〇機銃 (連度) 四 八〇機銃 (連度) 四 從車 二 「パイ」(パイ) 二 「パイ」(パイ) 二 「パイ」(パイ) 二 「パイ」(パイ) 二 「パイ」(パイ) 二 「パイ」(パイ) 二															

62

ノ下ノ分遣隊(三月一日現在)

部	隊	士官	准士官	下士官	兵	計	裝	備	配	備	
本部		1			2	3					
指揮小隊			1		2	2					
第一小隊			1		2	2					
第二小隊			1		2	2					
第三小隊			1		2	2					
第四小隊			1		2	2					
通信科			1	1	2	3					
機関科			1	1	2	3					
医務科		1		1	2	3					
主計科				1	2	3					
計		2	7	16	17	22					
							九六式輕機銃	3			
									「ランパン」ニ一ヶ分隊 「コホダシ」ニ一ヶ分隊 非遣警備ニ在セシム 他ノ下ノニ於テ警備 ニ重複與請作業ニ努ム		

3

0127

(2) 第三特別根據地隊麾下兵力部署

隊	主	區分	部	
		兵力		
新興丸 第五四駆潜隊 (長良丸) 第一昭南丸 第二昭南丸 第一號敷設艇 第四號敷設艇 一〇駆潜特務艇 二〇駆潜特務艇 二三駆潜特務艇 第三海丸 東名丸 研海丸	別隊 水警隊 大鷲四隻 拿捕艇 六	三隊 防空隊 三五耗機銃小隊	十二隊 陸警隊 警衛隊 砲隊	第一根拠地司令部 司令部 及隊
十	二	第	指揮官	
率	直	南	擔任區域	
近セレバス島海	セレバス島	南部	主要任務	
			一 全作戦支援 二 敵兵力撃破 三 占領地域確保 四 對空警戒 五 哨戒敵掃掃掃 六 海上交通確保 七 港務 八 水陸施設整備	

62

西スズガ 警備隊	東スズガ 警備隊	第四警戒隊	第三警戒隊	第二警戒隊	第一警戒隊
第三警戒備隊	第六警戒備隊	「ゲブリ」方面所在艦艇	「ナド」方面所在艦艇	「カッサ」方面所在特令艦艇	「スズガ」諸島海域所在艦艇

三 特 別 根 據 地

第三警戒備司令隊	第六警戒備司令隊	先任指揮官	先任指揮官	先任指揮官	先任指揮官
近海 (スズガ西部)	近海 (スズガ東部)	近海 (「ゲブリ」及「アト」島)	近海 (「ナド」近海)	近海 (「カッサ」近海)	近海 (諸島海域)
一 敵空襲警戒 二 對空警戒 三 對空警戒 四 對空警戒 五 水陸施設整備	一 敵兵力擊破 二 對濠洲及印度洋據点確保			一 敵兵力擊破 二 哨戒掃蕩 三 海上交通確保	

4

0129

隊 空 航	東 部 セレベス 警備 部隊	北 部 セレベス 警備 部隊
九三三空三基地派遣隊	第三十三特別根據地隊 「ケンタリ」分遣隊	第三十三特別根據地隊 「メナト」分遣隊
官 令 司 隊		
派遣隊 指揮官	分遣隊 指揮官	分遣隊 指揮官
「カッサル」近 海及「コスタ」 諸 島	東南部 「セレベス」及 「アトトン」 諸 島	北 部 「セレベス」
一 敵兵力撃破 二 上空警戒 三 對潜哨戒 四 敵情偵察 五 海上交通線確保 六 水陸施設整備	一 敵兵力撃破 二 占領地域確保 三 所在附近警戒 四 対空警戒 五 水陸施設整備 六 港 務	一 敵兵力撃破 二 占領地域確保 三 所在附近警戒 四 対空警戒 五 水陸施設整備 六 港 務

0130

(二) 作戰指導

(一) 陸上作戰

小、ステダ列島方面ニ敵及撃ノ算大ナルヲ以テ嚴重ナル警戒ヲ實施シ防
備強化ニ努ムルト共ニ極力訓練ヲ勵行シ教育ノ徹底就中陸戰ヲ主トシ
戰力ノ向上ニ努ム、尚三月一日附第三警備隊「メド」派遣隊ハ第四十三特
別根據地隊ニ在「ロホツク」「スバワ」第六警備隊派遣隊ハ第三警備隊ニ
編入セラレタリ

(二) 海上作戰

敵潜水艦ノ出沒ハ三月上旬一時下火トナリタル中下旬以降相當頻數ト
ナリ之ガ掃蕩ニ警備艦艇及航空隊ノ全力ヲ擧ゲテ實施セリ
三月二十五日九三三空「マロス」派遣隊ハ「マカツサル」港外ニ於テ敵浮上潜水艦
一隻ヲ発見シ適確ナル攻撃ヲ加ヘ確實ニ之ヲ撃沈セリ三月中ノ敵潛出
沒狀況及經過別表及別圖ノ通

64

13.4
14.5
56

5

0131

尚三月十日附屬艦艇左ノ通リ所屬変更セラレタリ

一四號敷設艇

第十二特別根據地隊へ

東名丸、研海丸

第十三特別根據地隊へ

(三) 航空作戦

九三三空ノ一部ヲ以テ「マックス」ニ在リテ敵情ニ應ジ「ホッパ」方面へ轉進
準備ヲ整フルト共ニ當隊擔任警備區域ノ船舶護衛對潛哨戒ニ任セリ

(四) 戦備

極力之が充實整備ヲ圖ルト共ニ訓練ヲ勵行シ特ニ人的戦力ノ充實ニ
努メ敵産兵器ノ活用ヲ計リ之が完備ニ努メタリ

18.4
19.5
ナシ

海軍功績調査部長殿

二十三特別根拠地隊第二號ノ六

九月十一日提出

軍機

自昭和十九年六月一日
至昭和十九年六月三日

4/20

第二十三特別根拠地隊戦時日誌

第二十三特別根拠地隊

19.6

19.6.25
支文

0133

19.6

目次

- 一 経過
- 二 人員、現状
- 三 令達報告等
- 四 参考
- 五 作战経過概要
- 六 添付書類
- 七 ガンダリ、分遣隊戦時日誌
- 八 マナド
- 九 ホマラ
- 一〇 第一〇號 駆潜艇特務艇戦時日誌
- 一一 第二〇號
- 一二 第一二二號
- 一三 特設駆潜艇 東石丸戦時日誌
- 一四 研海丸
- 一五 肥後丸
- 一六 大鷹丸
- 一七 鶴丸
- 一八 第一昭南丸
- 一九 第二昭南丸
- 二〇 特設掃海艇 長良丸

- (別冊第一)
- 第一
- 第二
- 第三
- 第四
- 第五
- 第六
- 第七
- 第八
- 第九
- 第十
- 第十一
- 第十二
- 第十三
- 第十四
- (日次終)

18.4
19.5
在L

0134

自昭和十九年六月一日 第三十三特別根據地隊戦時日誌
至昭和十九年六月三十日

一 経過

(イ) 敵情

西部ニ「エーギニア」方面ニ対スル敵航空部隊ノ来襲ハ更ニ一段ト激化シ「マヌ
クオリ」「アンボン」方面ニ晝夜ヲ問ハサル猛烈ナル爆撃ヲ續行シツツアリ「エモ
ール」諸島方面ニ於テモ敵機ノ反攻ハ活潑ニシテ此ノ間我擔任地ニ侵入
スルモノ僅少ナリトハ謂ヘ日夜熾烈ナル航空戦ノ下廿刻ノ油断ヲ許サザル
モノアリ「セレバス」近海ニ於ケル敵潜水行動モ亦益活潑化シ我補給輸送
ノ執拗ナル遮断妨害ヲ企圖シツツアリ

(ロ) 友軍ノ状況

「エーギニア」方面ニアリテハ日夜後方輸送路ノ不便ト物量不足ノ悪條
件下ニ在リテ克ク敵ノ反攻ヲ撃碎シツツアリ當部隊ニアリテハ尋ラ後方

0135

補給基地トシテ準備ニ努メ海上護衛ニ全カヲ傾注スルト共ニ戦力ノ
 急速向上ヲ期シツツアリ。

ハ) 任務編制及配備

- 一) 主要任務 機密東印度部隊命令作第五號第六號第七號ニ依ル
- 二) 編制及配備 機密第三警備部隊命令作第一號及第三十三特別糧
 據地隊並ニ分遣隊編制配備ニ依ル(附表)

本隊(六月三十日現在)

警砲隊		陸警衛隊 (重)四	内務科 二	司令部 (重)〇	部 隊士官 准士官	編 制	計	裝 備	配 備
一	五	二四〇	一三八	二	下管六		二四九 (重)〇	九式裝甲車 迫撃砲(重)	マウス、飛行場、ニケ分隊 ライカン、飛行場、ニケ分隊 散遣警備ニ任ズ 心付レ、不王木、トシカラ
四〇	四〇	四一	五	二	計		五		

0136

67

警陸 警衛隊	本部	部	編	士官	計	装 備
				准士官		
				下士官		
				計		
				計		
副	配	備				

ケンダリ、分遣隊(六月三十日現在)
備考(兼)ハ兼務略

科防空隊	水警科	港務補給科	通信科	医務科	主計科	計
	三	二	二	四	一	(兼五) 二八
	二	一	三		二	二一
二三	一三八	三〇	一三二	三七	八七	八五五
二三	一四三	三三	一三七	四一	九〇	(兼三) 九〇四

七五種同再砲(連)ニ
「ボボ」シワシシカン「ワタン
ボネ」カシヤン「ヒラ」ハルク
ムバ「ボシヤン」セネ「ボド」
カシヤン「カシヤン」ガシヤン島
ニ対空対潜自衛隊所ヲ配ス
「バシヤン」ニ特設自衛隊所
ヲ配ス
其、他ハ「マカサ」附近ノ警
備ニ従事

0137

62

<p>陸警衛隊本部</p>			<p>編</p>			計	主計科	医務科	機園科	通信科	港務補給科	水警科	科防空隊
						<p>(重)五</p>	<p>一</p>	<p>一</p>	<p>一</p>	<p>(兼)科兼務</p>	<p>(兼)一</p>	<p>一</p>	
<p>本部</p>			<p>士官准士官下曹長計</p>			<p>八</p>	<p>一〇</p>	<p>六</p>	<p>二四</p>	<p>一五</p>	<p>三五</p>	<p>一</p>	<p>五二</p>
						<p>三六三</p>	<p>一〇</p>	<p>七</p>	<p>二五</p>	<p>一六</p>	<p>三七</p>	<p>五三</p>	
<p>七五種野砲(重)</p>			<p>裝備</p>			<p>四〇表口機銃機銃 二〇機銃機銃機銃</p>							
<p>バリヤ山ニ特設見張所ヲ</p>			<p>配備</p>			<p>一 陸軍砲兵隊 二 陸軍砲兵隊 三 陸軍砲兵隊 四 陸軍砲兵隊 五 陸軍砲兵隊 六 陸軍砲兵隊 七 陸軍砲兵隊 八 陸軍砲兵隊 九 陸軍砲兵隊 一〇 陸軍砲兵隊 一一 陸軍砲兵隊 一二 陸軍砲兵隊 一三 陸軍砲兵隊 一四 陸軍砲兵隊 一五 陸軍砲兵隊 一六 陸軍砲兵隊 一七 陸軍砲兵隊 一八 陸軍砲兵隊 一九 陸軍砲兵隊 二〇 陸軍砲兵隊 二一 陸軍砲兵隊 二二 陸軍砲兵隊 二三 陸軍砲兵隊 二四 陸軍砲兵隊 二五 陸軍砲兵隊 二六 陸軍砲兵隊 二七 陸軍砲兵隊 二八 陸軍砲兵隊 二九 陸軍砲兵隊 三〇 陸軍砲兵隊 三一 陸軍砲兵隊 三二 陸軍砲兵隊 三三 陸軍砲兵隊 三四 陸軍砲兵隊 三五 陸軍砲兵隊 三六 陸軍砲兵隊 三七 陸軍砲兵隊 三八 陸軍砲兵隊 三九 陸軍砲兵隊 四〇 陸軍砲兵隊 四一 陸軍砲兵隊 四二 陸軍砲兵隊 四三 陸軍砲兵隊 四四 陸軍砲兵隊 四五 陸軍砲兵隊 四六 陸軍砲兵隊 四七 陸軍砲兵隊 四八 陸軍砲兵隊 四九 陸軍砲兵隊 五〇 陸軍砲兵隊 五一 陸軍砲兵隊 五二 陸軍砲兵隊 五三 陸軍砲兵隊 五四 陸軍砲兵隊 五五 陸軍砲兵隊 五六 陸軍砲兵隊 五七 陸軍砲兵隊 五八 陸軍砲兵隊 五九 陸軍砲兵隊 六〇 陸軍砲兵隊 六一 陸軍砲兵隊 六二 陸軍砲兵隊 六三 陸軍砲兵隊 六四 陸軍砲兵隊 六五 陸軍砲兵隊 六六 陸軍砲兵隊 六七 陸軍砲兵隊 六八 陸軍砲兵隊 六九 陸軍砲兵隊 七〇 陸軍砲兵隊 七一 陸軍砲兵隊 七二 陸軍砲兵隊 七三 陸軍砲兵隊 七四 陸軍砲兵隊 七五 陸軍砲兵隊 七六 陸軍砲兵隊 七七 陸軍砲兵隊 七八 陸軍砲兵隊 七九 陸軍砲兵隊 八〇 陸軍砲兵隊 八一 陸軍砲兵隊 八二 陸軍砲兵隊 八三 陸軍砲兵隊 八四 陸軍砲兵隊 八五 陸軍砲兵隊 八六 陸軍砲兵隊 八七 陸軍砲兵隊 八八 陸軍砲兵隊 八九 陸軍砲兵隊 九〇 陸軍砲兵隊 九一 陸軍砲兵隊 九二 陸軍砲兵隊 九三 陸軍砲兵隊 九四 陸軍砲兵隊 九五 陸軍砲兵隊 九六 陸軍砲兵隊 九七 陸軍砲兵隊 九八 陸軍砲兵隊 九九 陸軍砲兵隊 一〇〇 陸軍砲兵隊</p>							


0139

(三) 第三十三特別根據地隊麾下兵力部署

区分	指揮官	兵力	警備擔任区域	主要任務	科防空隊	水警科	港務補給科	通信科	機関科	医務科	主計科	計
		第三十三特別根據地隊 隊長 第一昭南丸 第三昭南丸 西小石丸 旭櫻丸 鎮西丸	マカッサル半島	一、全作戦支援 二、敵兵力攻撃小隊	(四) 三		(水警科業務)	一		一		(四) 三
						一四		一七	三		五	二九九
						一四		一八	三	一	五	(四) 四
					四、海軍警備隊(通) 二 配ス マカッサル島の対空対策見張 所ヲ配シ其ノ他ハ、ボマラ、附 近ノ警備ニ従事ス							

0140

67.

機動上陸部隊	北部セレス部	ポマラ防衛隊	東部セレス部	直率部隊
特令	分遣隊長	分遣隊長	分遣隊長	 23289
機動上陸部隊編制ニ依ル	分遣隊 研海丸 大鷹丸	分遣隊 鵜丸	分遣隊 肥後丸	第一〇三號 駆逐特務艇 第二二號 駆逐特務艇 第五三防空隊 (ケナリ) 第一〇一防空隊 (ポマラ) 第一〇三防空隊 (ケナリ) 第一九防空隊 (メナド) fh x5-6 22289
特令	北部セレス (セニ区)	島 (セニ区)	東南部セレス及中部セレス (一部ブートン)	及中部セレス 近海 (セニ区)
敵兵力奇襲攻撃ノ破	海上交通保護 重要資源帯ノ確保	四橋航空基地ノ整備	一 敵兵力攻撃ノ殲滅 二 陸上作戦協力 三 橋任区域防備警戒	三 海上交通保護 四 セレス、コロレス島連綴補給基地ノ整備

4.

0141

(二) 作戰指導

(一) 陸上作戰

南東及南西方面、敵猛及攻極点ニ達セントスル時其ノ汲及米ダ及バザル
狀況下當ニ待ツアルノ即應ノ姿勢ヲ堅持シ常ニ戦力ノ培養ト陸上
戦闘力ノ涵養ニ努力シツアリ、縱深陣地據点ノ構築モ其ノ進捗目
覺シク特ニメド地区ニ於ケル防備計画ノ實施ハ顯著ナルモアリ、

(二) 海上作戰

航空機及水上艦艇ニ依ル対潜哨戒ノ完璧ヲ期セガ爲ニ特ニ機関ノ整
備強化ノ暇ナラ殆ド全力活用ノ状態ニ在リ海面防備ニ関シテモ皆
手ノ努力ニ專念シ水際障碍物ノ設置等具体的防備ノ施設ニ努メツ
アリ。(六月ノ敵潜出没狀況別表第一及別圖ノ通)

(三) 航空作戰

當方面ニ襲敵機別表第二ノ通ナリ之事前ノ見張哨戒ヲ嚴ニシ常

ニバツツノ前線防衛ト資源等ノ防衛ノ任務ニ萬遺憾ナキヲ期シツアリ
水上機隊ハ日夜機数僅少ニシテ哨戒海面廣域ナルモ不拘常ニ哨戒ニ輸
送護衛ニ任ジツツアリ(六月中敵機襲撃状況別表第二ノ通)

(四) 其他

防備築城ニ於テハ耐彈防空施設ノ強化分散格納ノ徹底實施ニ努カシ
ツツアリ資材入手難ク昨今ニ於テハ廢材利用徹收ヲ轉用等ノ手段ニ依リ
各部共銳意設營ニ努カ中ニシテ相当ノ成果ヲ擧ゲツツアリ、特ニノボト
方面ハ戦局ノ逼迫ト推移ニ應ジ軍民一致ノ許ニ之又著シク其ノ築城ニ
努カシツツアリ、敵謀略ニ関シテハ事前察知ト完全封止ノ徹底化ヲ期
シツツアルヲ以テ殆ド治安ニ於テモ通敵行爲等ノ不穩分手ノ活動皆無
ニシテ事無キノ狀勢ニアリ、教育訓練ニ於テハ陸上戰鬪特ニ夜間訓練
ニ重點ヲ指向シ僅少兵カラ以テスル最大効果ノ發揮ヲ目途トシテ日夜
努カシツツアリ。

0143

(丁)

麾下及附屬艇行動所在

二〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日	艦名		
下揮指根特一十二第																				長良丸	第一號		
ツカマ			中海航						ソソ			航海中								長良丸	第一號		
ヨバル	航海中	ヨバル	航海中	ルサツカマ			航海中	ヨバル	航海中	ヨバル	航海中	ヨバル	航海中	ヨバル	航海中	ヨバル	航海中	ヨバル	航海中	ヨバル	航海中		
航			ルサツカマ						航海中			航海中								昭南丸	第二號		
ツカマ			航海中		ヨバル	航海中	ルサツカマ			中海航			ヨバル								東名丸		
カラカン	中海航			ヨバル		中海航			ヨバル		中海航			ヨバル								研海丸	
ルサツカマ			航海中						ルサツカマ									肥後丸					
中海航			航海中		ヨバル	中海航			ルサツカマ								入道丸						
ルサツカマ			航海中		ヨバル	航海中			ヨバル								鶴丸						
航海中		ヨバル	中海航			ルサツカマ			中海航									特務艦	第一〇一號				
航海中		ルサツカマ																	特務艦	第一〇二號			
航海中		中海航			ラマボ													特務艦	第一〇三號				

0144

21.

六	九	"	三	月
三	〇	一	〇	日
〇	四	〇	八	時
一	七	〇	〇	刻
E 二二度四十分	N 二二度〇分	E 二二度三十分	N 二二度六分	位
E 二二度三十分	N 二二度〇分	E 二二度三十分	N 二二度三十分	置
敵海上潜水艦見ユメド分遣隊	敵潜水艦見ユメド分遣隊	同	敵潜水艦見 (潜水艦情報)	記
				事

別表第一
六月中敵潜水艦出現状況

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一
中 動 行 テ =									
湾リ	ス	航						ル	ガ
		航						航	航
		中						中	中
航	航								
中	中								
航	航								
中	中								
航	航								
中	中								
航	航								
中	中								
航	航								
中	中								
航	航								
中	中								
航	航								
中	中								
航	航								
中	中								
航	航								
中	中								

0145

六	一〇一八〇	EN 四度四分 E 二九度一分	敵艦発見 (潜水艦情報)
	一一〇〇一五	EN 三度三分 E 一二度一分	敵艦発見 敵艦特別警戒 送信セリ (同)
	一二〇〇四五	EN 四度一分 E 二九度三分	同 (同)
	〇六三〇	EN 二度一分 E 二八度四分	敵艦発見 油珠 攻撃中
	一三〇八〇	EN 四度一分 E 二九度五分	敵艦 存在確実 (潜水艦情報)
	一四一〇〇〇	EN 四度三分 E 二九度六分	同 (同)
	二一〇〇	EM 四度一分 E 二九度一分	敵艦水艦測定位置 (同)
	二一三〇	EN 四度一分 E 二九度一分	同 (同)
	二二〇〇	EN 四度一分 E 二八度一分	同 (同)
	一五〇〇四五	EN 二度一分 E 二二度一分	同 (同)
	一六一〇〇七	EN 三度三分 E 二八度一分	敵艦 (雷撃機六本) 攻撃 研海丸被撃中 南進丸二本 命中 浸透火炎雷撃機六個効果不明
	二二三七	EN 四度一分 E 二二度一分	敵艦水艦測定位置 (潜水艦情報)
	二三五〇	ES 四度一分 E 二四度一分	同 (同)

別表第二

六月中敵機来襲状況

月日	位置	機種(数)	概	要
六二九	ゲンダリ	四発一(推定)	六二九ヨリ一〇八迄敵機飛行場上空旋回後西方を通過すル(投弾セズ)	
二六	アイトノ島	四発二(推定)	二三一ヨリ二七日迄来襲上空旋回後南東を去ル(投弾セズ)	
二八	同	?	二二五ヨリ二九日迄来襲上空旋回後南東を去ル	
三〇	同	?	二三〇ヨリ三五迄来襲上空旋回後東を去ル	

三〇一八四	ES 五度二六分一三九分 二二度三四分一四一分	鷓丸 大鷹丸 敵機発見 爆雷攻撃各十二個 効果不明
-------	----------------------------	------------------------------

自昭和十九年七月一日 第二十三特別根據地隊戰時日誌
至昭和十九年七月三十一日

一 経過

(1) 敵情

西部「ニューギニア」方面ニ對スル敵航空部隊ハ更ニ段ト激化シマ
ヌクワリ「アンボン」方面ニ晝夜ヲ間ハサル猛烈ナル爆撃ヲ續行シツ
ツアリ「ナモール」諸島方面ニ於テモ敵機ノ反攻ハ活潑ニシテ且「メナ
ド」方面一層激撃對勢ヲ整フル要アリ此ノ間我擔任地區ニ侵入
スルモノ僅少ナリトハ謂ヘ日夜熾烈ナル航空戦ノ下寸刻ノ油断ヲ
許サザルモノアリ「セレベス」近海ニ於ケル敵艦ノ行動モ亦益々活潑
化シ我補給輸送ノ執拗ナル遮断妨害ヲ企圖シツツアリ

(2) 友軍ノ状況

「ニューギニア」方面ニアリテハ日夜後方輸送路ノ不便ト物量不足ノ
悪條件下ニ在リテ克ク敵ノ反攻ヲ撃碎シツツアリ南部隊ニ下

0149

リテハ專ラ後方荷給基地トシテノ任務遂ニ努メ海上護衛ニ全力ヲ傾注スルト共ニ戦力ノ急速向上ヲ期シツツアリ

(一) 任務編制及配備

(一) 主要任務機密東印度部隊命令依第五號第六號第一〇號ニ依ル

(二) 編制及配備機密東第三警備部隊命令依第一號及第二十三特別根據地隊並ニ分遣隊編制配備ニ依ル(附表)

司令部(七月三十一日現在)

將旗ラメナト分遣隊ニ移駐中

マカッサル本隊(七月三十一日現在)

編		制		裝 / 備 配		備	
司令部	隊	士官	士官	計			
(八)							
三							
一六四							
一七九							

ノ下分遣隊(七月二十六日現在)

計	主計科	医務科	機關科	通信科	港務補給科	水警科	陸軍 警備隊	司令部	本部	部	隊	士官	准士官	下士官	兵計	制	裝 備	郵 備
内兼					水警科兼務													
一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
四	七	七	三一	三五	四	四	三	二	二	二	二	二	二	二	二			
六	七	八	三二	三七	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三			
五	七	八	三二	三七	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三			

0153

計	主計科	医務科	機関科	通信科	参務補給科 (水警科兼務)	水警科	警科	陸警衛隊	本部	部	隊	士官准士官 王官共計	編	制	計	備	配	備	
						防空隊	警衛隊	警衛隊											計
三		一				一		一	一			六							
一	五		三	一		一	一	四	六			七							
一	五	一	三	一		二	一	四	七			二							

ホマラ分遣隊(七月三十一日現在)

七五種野砲
四。特製裝機銃

自獲

ハリアヲ特設見張所ヲ配ス
マニヤニ島ヲ登リテ其ノ他ハホマラ
所ヲ配シ其ノ他ハホマラ
附近ニ遊撃隊ニ從事ス

0154

第三十三特別根據地隊麾下兵力部署

<p>部隊 並率</p>	<p>区分</p>
<p>△ 23abg</p>	<p>指揮官</p>
<p>第¹特別根據地隊本隊 長良丸 第一昭南丸 岸田丸 南丸 東石丸 旭櫻丸 鎮西丸 第²號巡洋特務艇 第³號驅逐特務艇 第⁴號哨艦 第⁵號哨艦 第⁶號哨艦 第⁷號哨艦 第⁸號哨艦 第⁹號哨艦 第¹⁰號哨艦 第¹¹號哨艦 第¹²號哨艦 第¹³號哨艦 第¹⁴號哨艦 第¹⁵號哨艦 第¹⁶號哨艦 第¹⁷號哨艦 第¹⁸號哨艦 第¹⁹號哨艦 第²⁰號哨艦 第²¹號哨艦 第²²號哨艦 第²³號哨艦 第²⁴號哨艦 第²⁵號哨艦 第²⁶號哨艦 第²⁷號哨艦 第²⁸號哨艦 第²⁹號哨艦 第³⁰號哨艦 第³¹號哨艦 第³²號哨艦 第³³號哨艦 第³⁴號哨艦 第³⁵號哨艦 第³⁶號哨艦 第³⁷號哨艦 第³⁸號哨艦 第³⁹號哨艦 第⁴⁰號哨艦 第⁴¹號哨艦 第⁴²號哨艦 第⁴³號哨艦 第⁴⁴號哨艦 第⁴⁵號哨艦 第⁴⁶號哨艦 第⁴⁷號哨艦 第⁴⁸號哨艦 第⁴⁹號哨艦 第⁵⁰號哨艦 第⁵¹號哨艦 第⁵²號哨艦 第⁵³號哨艦 第⁵⁴號哨艦 第⁵⁵號哨艦 第⁵⁶號哨艦 第⁵⁷號哨艦 第⁵⁸號哨艦 第⁵⁹號哨艦 第⁶⁰號哨艦 第⁶¹號哨艦 第⁶²號哨艦 第⁶³號哨艦 第⁶⁴號哨艦 第⁶⁵號哨艦 第⁶⁶號哨艦 第⁶⁷號哨艦 第⁶⁸號哨艦 第⁶⁹號哨艦 第⁷⁰號哨艦 第⁷¹號哨艦 第⁷²號哨艦 第⁷³號哨艦 第⁷⁴號哨艦 第⁷⁵號哨艦 第⁷⁶號哨艦 第⁷⁷號哨艦 第⁷⁸號哨艦 第⁷⁹號哨艦 第⁸⁰號哨艦 第⁸¹號哨艦 第⁸²號哨艦 第⁸³號哨艦 第⁸⁴號哨艦 第⁸⁵號哨艦 第⁸⁶號哨艦 第⁸⁷號哨艦 第⁸⁸號哨艦 第⁸⁹號哨艦 第⁹⁰號哨艦 第⁹¹號哨艦 第⁹²號哨艦 第⁹³號哨艦 第⁹⁴號哨艦 第⁹⁵號哨艦 第⁹⁶號哨艦 第⁹⁷號哨艦 第⁹⁸號哨艦 第⁹⁹號哨艦 第¹⁰⁰號哨艦</p>	<p>兵力</p>
<p>海 及中部セレス 及ニセレス近 (七一區)</p>	<p>警備擔任區域</p>
<p>全作戦支援 敵兵力攻撃手々 滅 三海上交通保護 四セレスー「フロレス」 島連鎖補給地 地、整備</p>	<p>主要任務</p>

0155

陸海軍 機動上	北部 セレス 部隊	防衛隊 ボマラ	東部 セレス 部隊
特令	分遣隊長 メナド	分遣隊長 ボマラ	分遣隊長 カンガリ
機動上陸部隊 編制ニ依ル	研海丸・大鷹丸 メナド分遣隊	鶴丸 ボマラ分遣隊	第一號駆潜艇特務艇 肥後丸 カンガリ分遣隊
特令	北部「セレス」 (セ三区)	島「チ」島 (セ二区)	東部部「セレス」 及中部「セレス」 一部「カト」 島「チ」島
敵兵力奇襲攻撃 ニ破	六、重要資源帯、 確保	四、擔任航空基地 整備	一、敵兵力殲滅 二、陸上作戰協力 三、擔任區域防衛警戒

0156

二) 作戰指導

一) 陸上作戰

南東及南西方面ニ於ケル敵反攻企圖ノ積極化ニ對處シ戦力ノ蓄積ト陸上戦闘力ノ涵養ニ努メ擔任區域ノ全面的邀撃態勢ヲ整ヘシツアリ 就中西部「ニューギニア」方面ニ對スル侵攻作戰ノ進展ニ伴ヒ敵西漸ノ指向性ヲ露呈セル環戦局ニ即シ當部隊ノ主力ヲ以テ海軍航空部隊及「メナド」地區陸軍部隊ト緊密ニ協力シ「ミナサ」地區要域ヲ防衛確保シ我邀撃作戰ノ支撐ヲ構成スルト共ニ敵ノ侵透攻略企圖ヲ破砕セントス

即「ミナサ」地區防衛計畫ヲ策定シ防衛ノ重点ヲ「ミナサ」地區至要港灣各種航空基地及通信施設ノ確保ニ集中シ補給施設輸送機關ノ整備ト相俟テ強靱ナル邀撃帯ノ構成ヲ企圖ス

方策次ノ如シ

- 一) 「ミナサ」港灣ノ防備ヲ促進強化シ以テ我南方各要域ニ對スル海上交通保護補給修理連絡港トシテ價値ヲ急速増大シ極力之が全能ヲ發揮セシムト共ニ同地水上基地ヲ確保ス
- 二) 速ニ「ミナサ」飛行場ノ各種施設ヲ整備スルト共ニ之が防備ヲ完成シ以

0157

- テ我海軍航空部隊ノ邀撃作戰ヲ執強ナラシム
- (3) 通信施設ヲ完備スルト共ニ電探及電探ノ配備ヲ適切ナラシメ以テ敵企圖ノ事前察知ニ努メ邀撃ノ効果ノ極度發揮ノ及敵空軍ノ限ヲ期ス
- (4) 海軍特務隊ヲ整頓シ現任氏ヲ主力トシ謀察機關ヲ強化擴充シ兼テ民政機關ノ宣撫云々ヲ相俟テ敵謀略現任氏ノ陰謀ヲ封殺スルト共ニ謀報ノ完備ヲ期ス
- (5) 急造シマス及メナド海軍ニ對シ水際防禦施設ヲ強化構築スルト共ニミナハサ地區要域港灣(ビートン)バンガムラレケマ及メナド逐次機雷ヲ敷設シ敵ノ侵透收略企圖ノ破砕ヲ容易ナラシム
- (6) 速ニ防空部隊ヲ展開セシメ主力ヲ以テマバンガムラレケマ飛行場ヲ有力ナル部ヲ以テビートン港灣ヲ及メ爾餘ヲ以テメナド海軍施設ノ防空ニ任セシムルト共ニ兼テマバンガムラレケマ飛行場ニ對シテ敵ノ地上及空挺攻撃ニ對シテ阻止戰闘ヲ準備セシメ之ガ確保ヲ期ス
- (7) 取敢ヘズ現有陸軍主力ノ主力ヲ以テマバンガムラレケマ及メナド逐次展開急速戰闘準備ヲ促進完成セシムルト共ニ兼テマバンガムラレケマ飛行場確保ニ必要ナル防衛作業ヲ併行セシメ之ガ確保ノ十全ヲ期ス尚爾余ニ都テ以テトシカノ地區ニ陸軍部隊ヲ隣接シ海軍部隊ノ復原ヲ構

築シ最悪ノ事態ニ及ブモ陸海軍打ツ一丸トナリ水久戦闘力ヲ保持
シ敵作戦ノ阻害敵戦力ノ漸減ニ努ムルノ外總力ヲ擧ゲテホルネオ共
ノ他海軍要域ノ邀撃ヲ帶トナリ海軍通信施設トシテ湖水上基地及
ランゴアノ飛行場ノ確保ニ注グ

(8) 速ニ海軍各廳要員ヲ留邦人及現住民各補ヲ以テ應急陸戰隊ヲ
編制訓練シ海軍部隊ノ總隊備兵力ヲラシムルト共ニ戦況ニ即
應シ或ハ戰備作業ニ従事セシメ若ハ戰闘配置ニ就カシム

(9) 地上戦闘ノ要領ハ各種防備築城施設ノ極度活用ニ努ムる外
兵力ノ缺ヲ補ヒ先ゾ敵ノ上陸戦闘及堅挺攻撃ノ初動ヲ制止極
力敵勢力ノ漸減ヲ圖ルト共ニ真ニ止ムヲ得ザルニ到レバ或ハ爆破破
壊ニヨリ或ハ天陰ヲ振シテ計畫的歩々抵抗ノ妙ヲ發揮シ或ハ又神
出鬼没ノ機動挺身遊撃戦ヲ反復スル等凡ソ手段ヲ盡シテ敵ノ我
港灣泊地航空基地通信交通居住施設等ノ利用ヲ阻止スルノ外
最後ノ一兵ニ到ル迄複層ヲ據兵トシテ飽ク迄積極的ニ戦闘ヲ繼續シ
創意工夫克ク敵ノ意表ニ出デ專ラ防衛目的ノ達成ニ邁進ス

(10) 海軍民政機關ノ全力ヲ擧ゲテ現住民ヲ指導活用シ敵ノ後方遮断
ニ對應シ自給体制ヲ確立強化シ以テ戦闘力ノ持久ヲ期ス

0159

二海上作戦

艦艇及航空機ノ協同ニヨリ敵重ナル對潜警戒ヲ實施シ敵潜ヲ執拗ナル追躡及反復攻撃ニ對シ輸送補給戦ノ完全遂行ニ努メ居レリ
小數ノ附属艦艇ヲ活用シ護衛ニ萬全ヲ期セシメハ特ニ機關ノ整備強化ノ暇ナク常ニ全力活用ノ状態ニアリ

三航空作戦

海面防備ニ関シテハ所要海面ニ於ケル機雷敷設計畫磁氣探知機設置計畫及掃海水路ニ就キ具體的方策ヲ劃定シ鬼水中障害物設置ニ於テモ資材ノ獲得努力ト相俟テ實現ニ着手シツマリ
當方面敵機來襲狀況ハ別表通ニテ偵察ノ状態ニ過ラズ活潑ナル行動ニ到ラザル狀況ニアルモ常ニバリツク前線防衛資源帶防衛ノ任務ニ萬遺憾ナキヲ期シツマリ水上機隊ハ日夜機數僅少ニシテ哨戒海面廣域ナルモ拘ラズ常ニ哨戒ニ輸送ニ護衛ニ任ジツマリ

四築城施設

防備築城ニ於テハ耐彈防空施設ノ強化分散格納ノ徹底實施ニ努力シツツマリ各種防備施設ハ墜道式分散様式ヲ採用極力之が被害局限對策ヲ構シ資材入手難ノ昨今ニ於テハ廢材利

用徴収品転用等ノ手段ニヨリ各部共銳意努力中ニテ相當ノ成
果ヲ擧ケケツアリ擔任飛行場ノ整備モ著シク其ノ進捗ヲ見マカッ
サル大艇基地ノ工事完成ヲ見タルハ其ノ一ナリ
特ニメナド方面ノ戦局ノ逼迫ト推移ニ應ジ東印部隊司令部該
ニ現地陸海軍協定項目ニ基キ「ミナハサ」防衛計畫ノ畫定見
民政機關該ニ一般商社ヲ勸員現地資材ノ活用転用ト相俟ケ
其ノ築成ニ努力シツツアリ

（一）施設ノ大要

陸軍ト協定シ復廓陣地ヲトシテ湖周邊トシ海軍戰艦
指揮所海軍送信所電信所電源所兵器糧食格納所（以
上陸道式）其ノ他諸防備施設ヲ「トルカシ」トシテ市北北十軒
「ビート」港灣「マパンゲ」飛行場ヲ展望シ得ル丘陵）ニ設置シ「ビ
ト」マパンゲト有線連絡ス
「マパンゲ」ランゴア「ビ」飛行場ヲ整備シ「マパンゲ」六戰艦指揮所送信所
受信所魚雷格納庫（以上陸道式）防空壕（兵器糧食格納庫）防空
砲台等ヲ設置ス
「ビート」港ヲ整備シ海軍本部（電信所水警科陸警科工作科病

0161

舎)ヲ設置シ該ニ電話交換所(送信所準備)兵器格納庫(受信所準備)ヲ地下壕道式、新設ニ尚水上基地魚雷艇基地及防備衛所ヲ整備又ハ新設ス

凶築城方針

對空爆撃及敵ノ艦砲射撃ニ堪ル如ク極力壕道式ヲ採用ス施設實施ニ當リテ民政部(商社)ニ工事委託セシ場合ト雖モ現場監督指導ヲ勤行シ原地形衰形又ハ樹木伐採等ヲ避ケ對空海ヨリノ遮蔽陰匿ヲ要旨トス施設ハ簡素ヲ旨トシ戰鬥本位トス施設資材ハ極力原地資材ヲ採用シ一般施設ハ既設ノ商社事務所倉庫ヲ轉用スルモノトス
各種工事：要兵力無ク進出ハ三十八地區(格)ニテ之ヲ築城監督官ニ監督地制ニ民政部通知ヲ對陸軍
陸軍一般民間、商社ニ應ジセシムルモノトス

(3) 補給通信輸送

三十八地區防衛計畫ニ基テ補給計畫有線通信敷設計畫及輸送計畫ヲ定ム

(a) 補給ニ關シテハ對空爆撃砲射撃ヲ考慮シ兵器彈藥糧食損耗ノ極力防止ヲ自圖トス

各種要員ノ分散耐糧格納方式ノ採用持久戰ヲ考慮セル意速集積法ニ糧食ノ現地自給主食物及乾燥副食物食塩等持久戰ニ必要ナル糧食ノ絶對確

保及補給運搬ニ於ケル現地交通機關ノ利用輸送隊長トノ緊
密ナル連絡ヲ以テ方針トス

尚各種燃料彈藥航空兵器ノ現保有量及遂次入荷量ニ對
スル分散比率糧食ノ補給確保量等ニ分散方式ヲ定メ且八月
初旬以降大型機ニヨル空襲ヲ豫想シ荷揚後即刻荷揚
港郊外ニ分散格納ス可ク補給要領ヲ定ム

(B) 有線通信施設ニ関シテハ敵ノ上陸ニ對シ又ハ陸上戦闘酣戰期
ト雖モ「ミナハシ」地區防衛計畫ニ據リ全地區ノ指揮可能ナル
如ク敷設シルルカ「大中樞部」ヲ「パンダ」(中樞部)「ビー」
(小中樞部)ニ陸道式交換所ヲ設定ス

敵空爆及艦砲撃下ニ於ケル通信業務遂行ニ遺憾ナキヲ期ス
司ク通信中樞部ノ陸道式建設有線通信資材不足ニ鑑ミ既
設民政道信資材ノ回收轉用及陸軍一通信系トノ連絡保持
被空局限ノ身地ヨリスル線路ノ陸海民三段橋及其ノニラ
消失スルモ作戰ニ支障ナキ様交換台ノ位置敷設ノ設定ヲ圖ル
ヲ以テ敷設方針トス

AD
(C) 輸送ニ於テ「ミナハシ」地區防衛輸送計畫ヲ定メ左記輸送方針

0163

ニヨリ輸送ヲ實施セシトス

即輸送ノ能率ヲ計リ急速戰備ノ完成ヲ企圖シ一旦戰鬪ニ加入

シテハ作戦遂行ニ遺憾ナキヲ期スル爲メ戰備資材輸送ニ作戦

緊急輸送ニテハ戰鬪輸送ノ三段構トス

戰備輸送ニテハ戰局ノ急速完成ヲ目指シ緩急順序ヲ以テ荷

役ノ分散格納ニ防備工事資材ノ輸送ニ野戰築城ニ永久築

城ニ事ニ防衛輸送計畫ニ基キ軍需品ノ分散集積四人負輸送

作戦緊急輸送ニテハ施設部ニ專用車輛ニ航空部隊隊務

遂行用車輛ヲ除キ緊急徵発ヲ命ジ一括指揮運營スルモノトス

戰鬪輸送ニ於テハ彈藥輸送傷者運搬連絡等ニ當ルモノトシ

テノ爲メ民政機關ノ各種全車輛ヲ徵集シ之ヲ各隊ニ配屬運營セ

シム

四敵謀略ニ関シハ益爭前察知ト完全封止ノ徹底化ヲ期シツツアルヲ以

テ殆ンド治安ニ於テモ通報行爲等ノ不穩分子ノ活動皆無ニシテ事無

キノ狀勢ニテ教育訓練ニ於テハ陸上戰鬪時ニ夜間訓練ニ重点ヲ

指向シ陸上兵力ヲ以テスル最大効果ノ發揮ヲ目途トシテ日夜努力シ

ツツアリ

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一
船名	長丸	第一丸	第二丸	東石丸	研丸	把丸	大丸	鶴丸	旭丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	特務丸	
船種	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	海防艦	
任務	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸	送輸
船長

小艇下及附属船艇行動所注